

1. 南北移動・交通結節

1-1. らくらく南北往来プログラム

【将来交通環境】

南北を気軽に行き来できるまち（目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ関連）

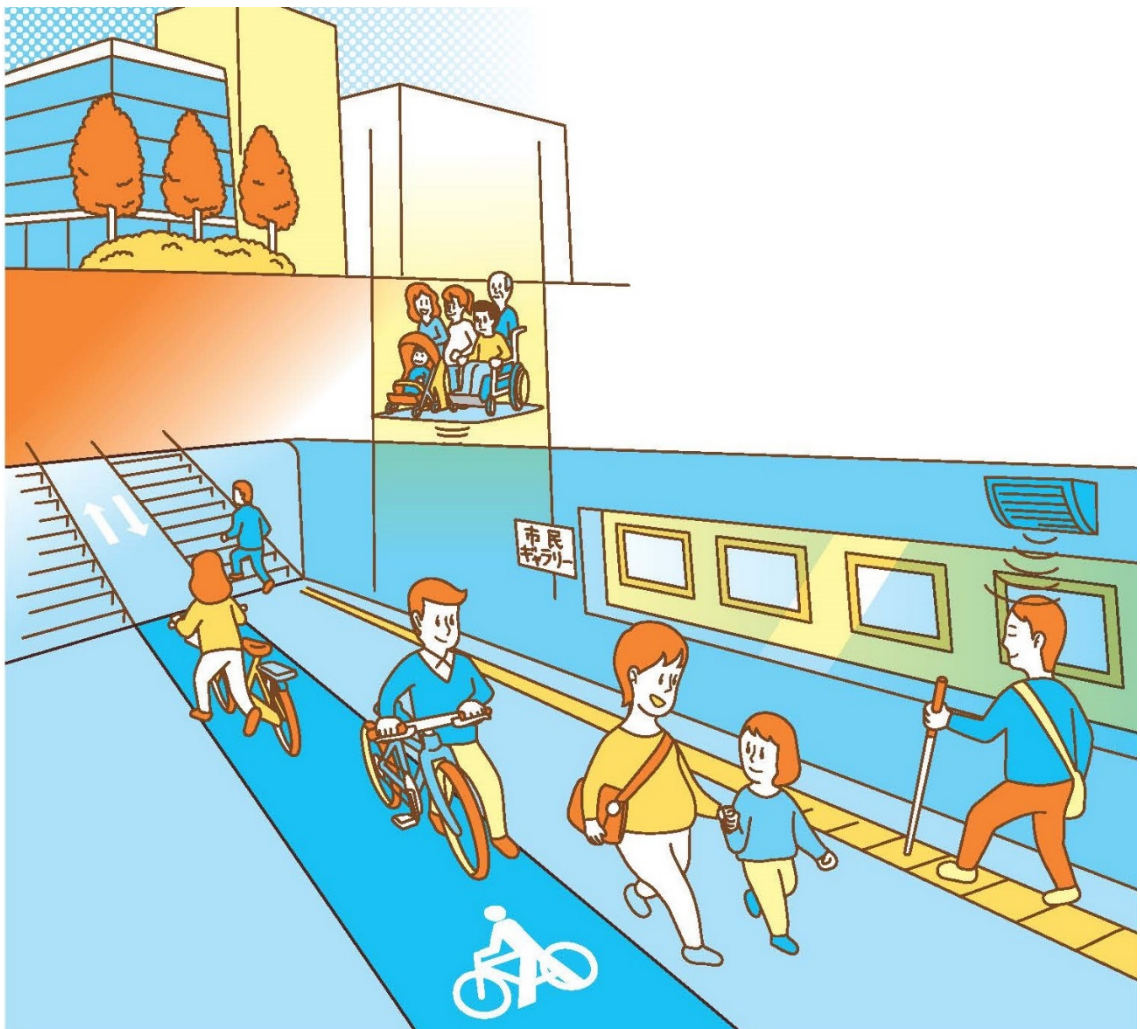
- ・まちを分断している鉄道や幹線道路を意識せず、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全・快適に南北に行き来できるようになっています。

〇らくらく南北往来プログラム

対象 全ての人

主として交通弱者をはじめとした歩行者等の安全で円滑な移動や、地上駅である鉄道や幹線道路による地域の分断の解消、まちの回遊性向上の観点から、

- ・駅と一体となった南北連絡動線について、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査・検討・協議を進め、その充実に取り組みます。
- ・荻窪地下道について、移動円滑化や環境改善に取り組みます。環八通り地下通路については、主に環境改善に取り組みます。



「らくらく南北往来プログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

(1) らくらく南北往来プログラム 実行に向けた施策

○駅と一体となった南北連絡動線の改善等

- ・ 既存の東口改札前地下通路、西口連絡橋通路等について、安全性・快適性を更に高める取組を検討します。
- ・ 駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえた駅周辺の基盤整備にあわせた既存南北連絡動線の抜本的改善や、新たな動線整備に向けた取組を検討します。
- ・ 当面は、杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会分科会を設置し、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、基礎調査や関係権利者の意向把握等を行い、事業手法等の検討を進めます。

○荻窪地下道及び環八通り地下通路の改善等

- ・ 荻窪地下道におけるエレベーター整備の調査・検討など、バリアフリー化の取組を進めます。
- ・ 荻窪地下道における壁面・照明等の改修等の取組を進めます。
- ・ 荻窪地下道ギャラリーを活用します。
- ・ 荻窪地下道通行時における自転車通行ルールの周知を進めます。
- ・ LED照明への切り替え等、環八通り地下通路における環境改善を進めます。

〈らくらく南北往来プログラム 施策パッケージ〉

施策 (下段：細施策)	実施工程表 P98 参照
駅と一体となった南北連絡動線の改善等	
南北連絡動線の 신설・改善に向けた調査・検討・協議	
荻窪地下道及び環八通り地下通路の改善等	
荻窪地下道のバリアフリー化に向けた調査・検討	
荻窪地下道の修繕整備	
荻窪地下道ギャラリーの活用	
荻窪地下道通行時の自転車通行ルールの周知	
環八通り地下通路における環境改善の実施	



写真：荻窪地下道のギャラリー

コラム：自転車通行ルールの周知について

- ・大塚駅では、自由通路での自転車の押し歩きを周知するため、「自転車走行禁止 自転車は降りて通行して下さい」の標識を設置するとともに、音声により注意喚起がされています。

写真：自転車の押し歩きの周知（大塚駅）



1-2. すいすい乗換えプログラム

【将来交通環境】

乗り換えしやすい駅・駅前広場があるまち（目標Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ関連）

・迷わず、スムーズに乗り換えられるターミナル駅となっています。

○すいすい乗換えプログラム

対象 全ての人

区内最大の交通結節点として、利便性・快適性を更に高める観点から、

- ・バス・タクシーなどのターミナル機能、駅との連絡機能等の充実に向け、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査・検討・協議を進め、駅前広場等の駅周辺の基盤整備等に取り組みます。
- ・JR・メトロ間等の乗換え経路の改善に向けた検討・協議や、駅とバスのりば間のシームレスな案内・誘導に取り組みます。



「すいすい乗換えプログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

(2) すいすい乗換えプログラム 実行に向けた施策

○駅周辺の開発にあわせた基盤整備

- ・北口駅前広場については、駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえた駅周辺の基盤整備により、バスのりばの集約化、バス・タクシーの降車スペースや一般車両の送迎スペースの確保等を図ります。
- ・当面は、杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会分科会を設置し、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、基礎調査や関係権利者の意向把握等を行い、事業手法等の検討を進めます。(再掲)
- ・南口の駅前広場については、地域住民の意向、用地確保の課題、交通環境などを踏まえ、中長期的に検討を進めます。

○JR・メトロ間等の乗換え経路の改善

- ・JR・メトロ間の乗換え経路の改善を図ります。
- ・当面は、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、基礎調査や関係権利者の意向把握等を行うなど、その実現に向けた検討・協議を進めます。
- ・駅からバスのりばに至るシームレスな案内・誘導のため、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、既存サインの改善・充実に向けた調査・検討・協議を進めます。その際は、高齢者、移動に制約のある方等や、今後増加が見込まれる外国人旅行者の利便性向上のため、わかりやすいバリアフリー動線の確保・案内や多言語化にも配慮します。

〈すいすい乗換えプログラム 施策パッケージ〉

施策 (下段：細施策)	実施工程表 P98 参照
駅周辺の開発にあわせた基盤整備	
駅周辺の開発にあわせた基盤整備に向けた調査・検討・協議	
JR・メトロ間等の乗換え経路の改善	
JR・メトロ間の乗換え経路の改善に向けた調査・検討・協議	
シームレスな案内・誘導サインの整備に向けた調査・検討・協議	



写真：総合バス情報案内板（バスタ新宿）

コラム：ターミナル駅における案内サイン共通化

- 東京都では、都内の各ターミナル駅において、統一感のあるわかりやすい案内サインが整備されることを目指し、自治体、鉄道事業者、道路管理者、関係事業者等が連携して検討を進めるにあたり、特に留意すべき事項について、基本的な考え方を取りまとめた「ターミナル駅における案内サイン共通化指針」を策定しています。



写真：共通化された案内サイン（新宿駅）

2. 利便性・にぎわい・回遊性

2-1. 今日もいつもの商店街プログラム

【将来交通環境】

普段の買い物・まち歩きを快適に楽しめるまち（目標Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ関連）

- ・区内最大の乗降人員を有する荻窪駅の、乗り換え客を含む日常的な利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しみ、にぎわいと交流が生まれています。
- ・駅前広場では、イベントや憩いのひとときを楽しむことができます。
- ・歩行空間にある様々なバリアが無くなり、充実した案内・誘導サインや休憩スポット等により、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、商店街等を楽しく、快適に移動できています。
- ・地域の日常生活を支える「モノの流れ」と、「人の流れ」が共存しています。
- ・（仮称）荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園などを巡るまち歩きの際に、商店街も散策し、食事や買い物などを楽しむことができます。
- ・地域住民が、歴史的・文化的資源の再発見により、地域への愛着や誇りに思う気持ちが深まっています。これにより、地域を訪れる来街者に対しておもてなしの心が育まれ、イベントなどの機会を通じて、来街者との活発な交流が生まれています。
- ・自転車を便利に、快適に、効率よく使っています。

○今日もいつもの商店街プログラム **対象** 主として地域住民

- ・駅周辺のにぎわいと交流を高めるきっかけをつくる観点から、乗換え客を含む日常的な駅の利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しめるよう、まちの玄関口としての駅前広場の交流機能の向上などに取り組みます。
- ・まちのにぎわいの創出や、ユニバーサルデザインの観点から、商店街などの買い物道路について、年齢や障害の有無などに関わらず、また、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全で快適に買い物を楽しめる空間の確保に取り組みます。
- ・まちのにぎわいの創出や、人の流れと地域の日常生活を支える物流との調和の観点から、まちづくりと連携した駐車場施策や荷捌き環境の改善等に取り組みます。

○ぐるっとおでかけまち歩きプログラム

○賢い自転車利用プログラム



「今日もいつもの商店街プログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

(1) 今日もいつもの商店街プログラム 実行に向けた施策

○まちへ誘うにぎわい拠点の整備

- ・北口駅前広場については、駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえた駅周辺の基盤整備により、来街者等が待合せや休憩等に利用できる広場スペースの確保や、駅から連続したにぎわい空間の創出を図ります。
- ・当面は、杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会分科会を設置し、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、基礎調査や関係権利者の意向把握等を行い、事業手法等の検討を進めます。(再掲)
- ・短期的な取組としては、来街者等が心地よく待ち合わせや休憩等に利用できるよう、暑熱対策のための微細ミスト設備等を設置するなど、駅周辺のクールスポットの整備を進めます。

○まちなかでくつろぎ楽しめる空間の創出

- ・商店会とのワークショップ等を実施し、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが安全で快適に買い物を楽しめる空間の確保に向けた課題等の共有化を通じ、商店会と連携した取組の機運の醸成を図ります。商店会との連携による具体的な内容として、
 - － 店舗前面(民地)に、ひと休みできる椅子等を設置することによる、買い物客等が憩えるような場づくりに向けて、商店会等と連携した取組を推進します。
 - － 商店街での買い物を快適に楽しめるよう、歩行者等に優しい自転車の押し歩きなど、それぞれの商店街の実情に合わせた独自のルールを定め、周知を行うとともに、マナー向上に取り組めます。また、警視庁、東京都や、小中学校、自転車関係事業者、商店会等と連携し、幅広い自転車利用者に対して自転車の交通ルール等の周知を図るキャンペーン活動等に取り組めます。
 - － ポケットパーク等の憩いの場づくりや、買い物客用駐輪スペースの創出を図ります。
 - － 区、警視庁、商店会が連携し、路上看板や路上陳列の解消等の路上障害物の撤去等に取り組めます。
- ・買い物客用駐輪スペースの充実化を図るため、杉並区民営自転車駐車場育成補助金交付要綱や、自転車駐車場の附置義務制度など、既存制度の周知の徹底、地域の実情に応じた改正等を行い、効果的な運用を図ります。
- ・地域の状況、機運に合わせ、まちづくりルール(建築物1階部分を道路境界から後退して建てるなど)の登録など、ゆとりある快適な歩行空間の形成に向けた活動の支援を行います。

○荷捌きスペースの確保

- ・端末物流対策としては、荷捌き車両と他の交通を空間的・時間的に分離する方策(荷捌きスペースの確保・タイムシェアリングなど)、荷捌き車両の路上駐車抑制(荷捌きルールづくりなど)が挙げられます。
- ・路外における荷捌きスペース確保のため、
 - － 既存駐車場の一部を活用することについて検討します。
 - － 一定規模以上の建築物新設の際の荷捌きスペース設置の誘導について検討します。
- ・路上空間における荷捌きスペース確保について、区と警視庁等の関係者が連携して検討を進めます。
- ・既存駐車場において、荷捌きが集中する時間帯と、駐車需要の少ない時間帯とのマッチングによる荷捌きスペースの確保を検討します。
- ・更なる荷捌き対策の充実に向け、シェアリングエコノミーを活用した住宅地における荷捌き車両対策や、附置義務駐車場の共同荷捌きへの活用に向けた駐車場地域ルールの策定、共同荷捌き場の整備などについて、地域住民や商店会などの関係者との協議を踏まえながら、調査・検討に取り組めます。また、荷捌き対策の充実と、商店街における賑わいの連続性の確保の両立を目指し、駐車場の適切な立地誘導に向けた調査・検討に取り組めます。
- ・警視庁が路上駐車取締りを強化します。

〈今日もいつもの商店街プログラム 施策パッケージ〉

<p style="text-align: center;">施策 (下段：細施策)</p>	<p style="text-align: center;">実工程表 P 99・100 参照</p>
<p>まちへ誘うにぎわい拠点の整備</p>	
<p>駅周辺の開発にあわせた基盤整備に向けた調査・検討・協議（再掲）</p>	
<p>クールスポットの整備</p>	
<p>まちなかでくつろぎ楽しめる空間の創出</p>	
<p>商店街における交通課題等の共有・機運の醸成</p>	
<p>店舗前面（民地）での椅子等の設置による憩いの場づくり</p>	
<p>商店街等の歩きやすい歩行環境づくり</p>	
<p>ポケットパーク等の憩いの場づくり</p>	
<p>買い物客用駐輪スペースの創出</p>	
<p>道路不正使用合同取締りの実施</p>	
<p>買い物客用駐輪スペースの充実に向けた既存制度の効果的な運用</p>	
<p>ゆとりある快適な歩行空間の形成に向けた活動の支援</p>	
<p>荷捌きスペースの確保</p>	
<p>既存駐車場を活用した荷捌きスペースの確保</p>	
<p>一定規模以上の建築の際の荷捌きスペース設置の誘導</p>	
<p>路上空間における荷捌きスペース確保</p>	
<p>既存駐車場のタイムシェアリング</p>	
<p>荷捌き対策の更なる充実化に関する調査・検討・協議</p>	
<p>路上駐車取締りの強化</p>	

コラム：プレイスメイキング（まちなかの居場所づくり）について

- ・プレイスメイキングとは、昭和 35 年頃からアメリカで提唱された、あらゆる住環境において居心地の良い心的価値をつくり、生活の質を高める場所づくりの概念です。
- ・平成 26 年に、国土交通省主催のプレイスメイキングに関するシンポジウム（プレイスメイキング シンポジウム 2014「ヒューマンスケールのまちづくり」）が開催されました。
- ・平成 27 年には、国土交通省による「居心地を良くし、にぎわい・活気のある都市空間・歩行者空間の創出」について、弘前市の吉野町緑地、豊島区グリーン大通りにおいて実証事業が行われました。
- ・これらに引き続き、平成 29 年には、豊島区において「グリーン大通りエリアマネジメント協議会（事務局：豊島区）」の主催による、道路空間等を活用したイベント「ikebukuro living loop」が行われました。



写真：「ikebukuro living loop」の様子

コラム：自治体と民間事業者が連携した駐輪場シェアサービスについて

- ・神奈川県大和市では民間会社と連携して、駐輪場シェアサービス「みんちゅう」を提供しています。
- ・民間会社は、インターネット、スマートフォンアプリを通して、わずかな時間から空いている土地・スペースを誰でも貸し出すことができ、誰でも借りることのできる、駐輪場のシェアサービスを運営し、大和市は、提携駐輪場内の不正駐輪の警告・移動・保管を行っています。

【将来交通環境】

普段の買い物・まち歩きを快適に楽しめるまち（目標Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ関連）

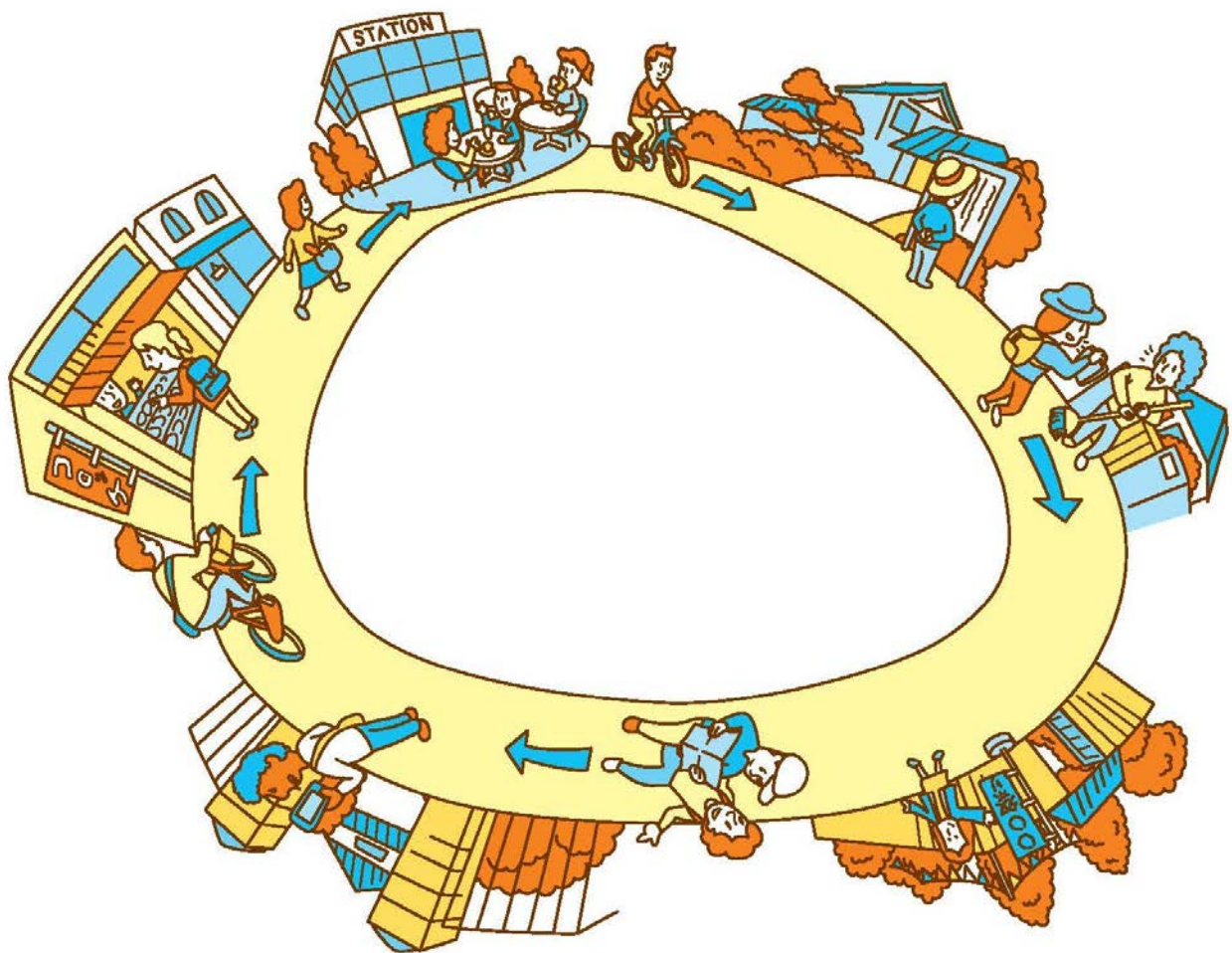
- ・ 区内最大の乗降人員を有する荻窪駅の、乗換え客を含む日常的な利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しみ、にぎわいと交流が生まれています。
- ・ 駅前広場では、イベントや憩いのひとときを楽しむことができます。
- ・ 歩行空間にある様々なバリアが無くなり、充実した案内・誘導サインや休憩スポット等により、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、商店街等を楽しく、快適に移動できています。
- ・ 地域の日常生活を支える「モノの流れ」と、「人の流れ」が共存しています。
- ・ （仮称）荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園などを巡るまち歩きの際に、商店街も散策し、食事や買い物などを楽しむことができます。
- ・ 地域住民が、歴史的・文化的資源の再発見により、地域への愛着や誇りに思う気持ちが深まっています。これにより、地域を訪れる来街者に対しておもてなしの心が育まれ、イベントなどの機会を通じて、来街者との活発な交流が生まれています。
- ・ 自転車を便利に、快適に、効率よく使っています。

○今日もいつもの商店街プログラム

○ぐるっとおでかけまち歩きプログラム 対象 主として来街者

- ・ 来街者のまちの回遊性を向上させる観点から、駅構内と地上部との連続性を考慮した、わかりやすくシームレスな案内・誘導サインの整備に取り組みます。
- ・ 駅周辺のにぎわいと交流を高めるきっかけをつくる観点から、乗換え客を含む日常的な駅の利用者が、気軽に荻窪のまちに出て楽しめるよう、まちの玄関口としての駅前広場の交流機能の向上などに取り組みます。（再掲）
- ・ 数多く点在する歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりと、これを通じた地域への愛着や誇りを育む観点から、復原・整備を行う荻外荘と、大田黒公園や角川庭園等の周辺施設との連携を意識した上で、ハード・ソフトの両面から、回遊性の向上に取り組みます。

○賢い自転車利用プログラム



「ぐるっとおでかけまち歩きプログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

(2) ぐるっとおでかけまち歩きプログラム 実行に向けた施策

○わかりやすい案内・誘導サインの整備

- ・ 杉並公会堂や杉並アニメーションミュージアム、ウェルファーム杉並、東京衛生病院等の公共公益施設や、タウンセブン等の大規模商業施設や商店街等、駅周辺の利用者が多い施設・にぎわい形成に資する施設群を含めた、総合的な案内・誘導サインを整備します。
- ・ 限られたスペースで多くの情報量を発信できることなどから、デジタルサイネージ等を活用した案内板の設置に取り組みます。また、これらの案内板において、外国人旅行者が、公衆無線 LAN (Wi-Fi) を利用するためのスマートフォンアプリをダウンロードできる機能を付加するなど、外国人旅行者にとって利便性の高い案内板について検討します。
- ・ 駅からバスのりばに至るシームレスな案内・誘導のため、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、既存サインの改善・充実に向けた調査・検討・協議を進めます。その際は、高齢者、移動に制約のある方等や、今後増加が見込まれる外国人旅行者の利便性向上のため、わかりやすいバリアフリー動線の確保・案内や多言語化にも配慮します。(再掲)
- ・ 電気事業者等と連携し、トランスボックスを活用した案内・誘導に取り組みます。

○まちへ誘うにぎわい拠点の整備

- ・ 北口駅前広場については、駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえた駅周辺の基盤整備により、来街者等が待合せや休憩等に利用できる広場スペースの確保や、駅から連続したにぎわい空間の創出を図ります。(再掲)
- ・ 当面は、杉並区荻窪駅周辺総合交通戦略連絡協議会分科会を設置し、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、基礎調査や関係権利者の意向把握等を行い、事業手法等の検討を進めます。(再掲)
- ・ 商店街と、駅周辺に点在する歴史的・文化的資源とが連携した、地域の更なる魅力発信に資するイベントの開催等により、気軽に荻窪のまちに出て楽しめる取組を進めます。

○駅周辺の回遊性の向上

- ・ 駅周辺の回遊性向上に取り組みます。その方策として、まず駅南側エリアを対象としてまち歩きの主なルートとなる区道への案内・誘導サインの設置などについて検討し、(仮称)荻窪駅南側エリア回遊性向上アクションプランを取りまとめます。
- ・ まちの魅力の発信機能を兼ね備えた案内・誘導サインの設置などに取り組みます。その方策として、案内・誘導サインの板面に荻窪の歴史に関するエピソードを盛り込み、まちの魅力を知り、楽しみながら目的地までたどり着くことができる仕組みづくりを進めます。
- ・ これまで設定した散策ルートの更なるPRに取り組みます。
- ・ 各歴史的・文化的資源を連携させたイベントの開催などにより、これらの資源の更なる魅力発信、知名度向上に取り組みます。
- ・ 新たな移動手段の提供として、シェアサイクル事業の実施に向けて、調査・検討を行います。あわせて、民営型シェアサイクル事業の動きを注視し、そのあり方についても検討します。
- ・ ポートの設置については、公共施設の敷地や民有地の活用を検討します。あわせて、歩行者等の安全で円滑な通行の確保を前提とした、路上へのポート設置についても検討します。
- ・ シェアサイクル事業の実施にあわせて、「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づき、駅周辺の自転車ネットワーク路線の整備を進めます。
- ・ 自転車を利用した来街者の利便性向上のため、(仮称)荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園等における使いやすい駐輪スペースの整備に取り組みます。
- ・ まち歩きツアーなどのスポットとして対応できるよう、観光バス等の利用環境の確保に向け、調査・検討します。調査・検討にあたっては、荷捌き車両とのスペースのタイムシェアリングなど、

地域の資源等の有効活用に配慮します。(観光バスの利用環境の確保に向けた調査・検討については、杉並アニメーションミュージアムなどの公共・公益施設も対象とします。)

- ・平成 28 年度に南口駅前通りに施工した、かるたを題材とし荻窪の歴史的・文化的資源を紹介するトランスボックスのラッピングの更なる周知を図り、回遊性向上に取り組みます。

〈ぐるっとおでかけまち歩きプログラム 施策パッケージ〉

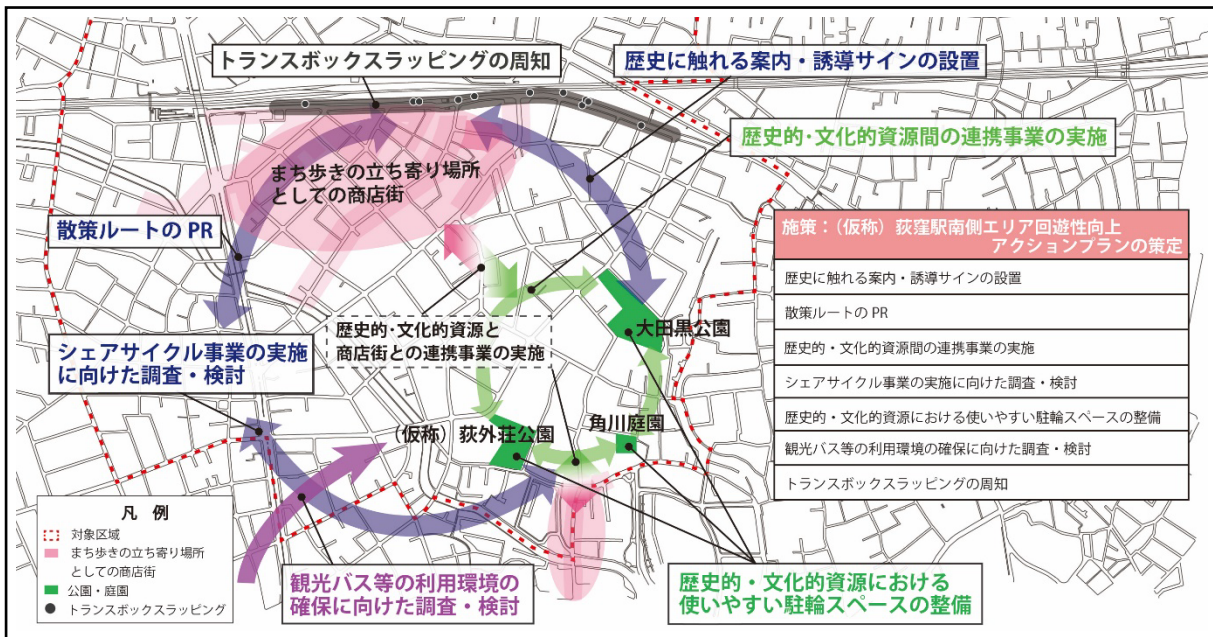
施策 (下段：細施策)	実施工程表 P101 参照
わかりやすい案内・誘導サインの整備	
デジタルサイネージ等の設置	
シームレスな案内・誘導サインの整備に向けた調査・検討・協議（再掲）	
トランスボックスを活用した案内・誘導	
まちへ誘うにぎわい拠点の整備（再掲）	
駅周辺の開発にあわせた基盤整備に向けた調査・検討・協議（再掲）	
歴史的・文化的資源と商店街との連携事業の実施	
駅周辺の回遊性の向上	
(仮称) 荻窪駅南側エリア回遊性向上アクションプランの策定	
歴史に触れる案内・誘導サインの設置	
散策ルートでの PR	
歴史的・文化的資源間の連携事業の実施	
シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討	
歴史的・文化的資源における使いやすい駐輪スペースの整備	
観光バス等の利用環境の確保に向けた調査・検討	
トランスボックスラッピングの周知	

コラム：デジタルサイネージを活用した観光案内標識について

- ・東京都及び公益財団法人東京観光財団では、平成27年度から外国人旅行者の利便性向上を目的に、高機能型観光案内標識（デジタルサイネージ）の整備を進めています。
- ・高機能型観光案内標識では、観光情報などを多言語で提供し、タッチパネルディスプレイにより、観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATMの検索、道順案内等の機能があります。



写真：東京都によるデジタルサイネージを活用した観光案内標識（新宿区西新宿付近）



図：（仮称）荻窪駅南側エリア回遊性向上アクションプランの概念図

コラム：北区「飛鳥山3つの博物館」連携事業について

- ・北区飛鳥山公園内にある「北区飛鳥山博物館」、「紙の博物館」、「渋沢史料館」の3館は、「飛鳥山3つの博物館」として、ホームページ開設、シンボルマーク・ロゴタイプ作成、合同企画の開催、共通券の発売、案内サイン設置、オリジナルグッズ販売など、連携事業を展開しています。



写真：案内サイン（北区飛鳥山公園付近）

2-3. 賢い自転車利用プログラム

【将来交通環境】

普段の買い物・まち歩きを快適に楽しめるまち（目標Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ関連）

- ・区内最大の乗降人員を有する荻窪駅の、乗換え客を含む日常的な利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しみ、にぎわいと交流が生まれています。
- ・駅前広場では、イベントや憩いのひとときを楽しむことができます。
- ・歩行空間にある様々なバリアが無くなり、充実した案内・誘導サインや休憩スポット等により、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、商店街等を楽しく、快適に移動できています。
- ・地域の日常生活を支える「モノの流れ」と、「人の流れ」が共存しています。
- ・（仮称）荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園などを巡るまち歩きの際に、商店街も散策し、食事や買い物などを楽しむことができます。
- ・地域住民が、歴史的・文化的資源の再発見により、地域への愛着や誇りに思う気持ちが深まっています。これにより、地域を訪れる来街者に対しておもてなしの心が育まれ、イベントなどの機会を通じて、来街者との活発な交流が生まれています。
- ・自転車を便利に、快適に、効率よく使っています。

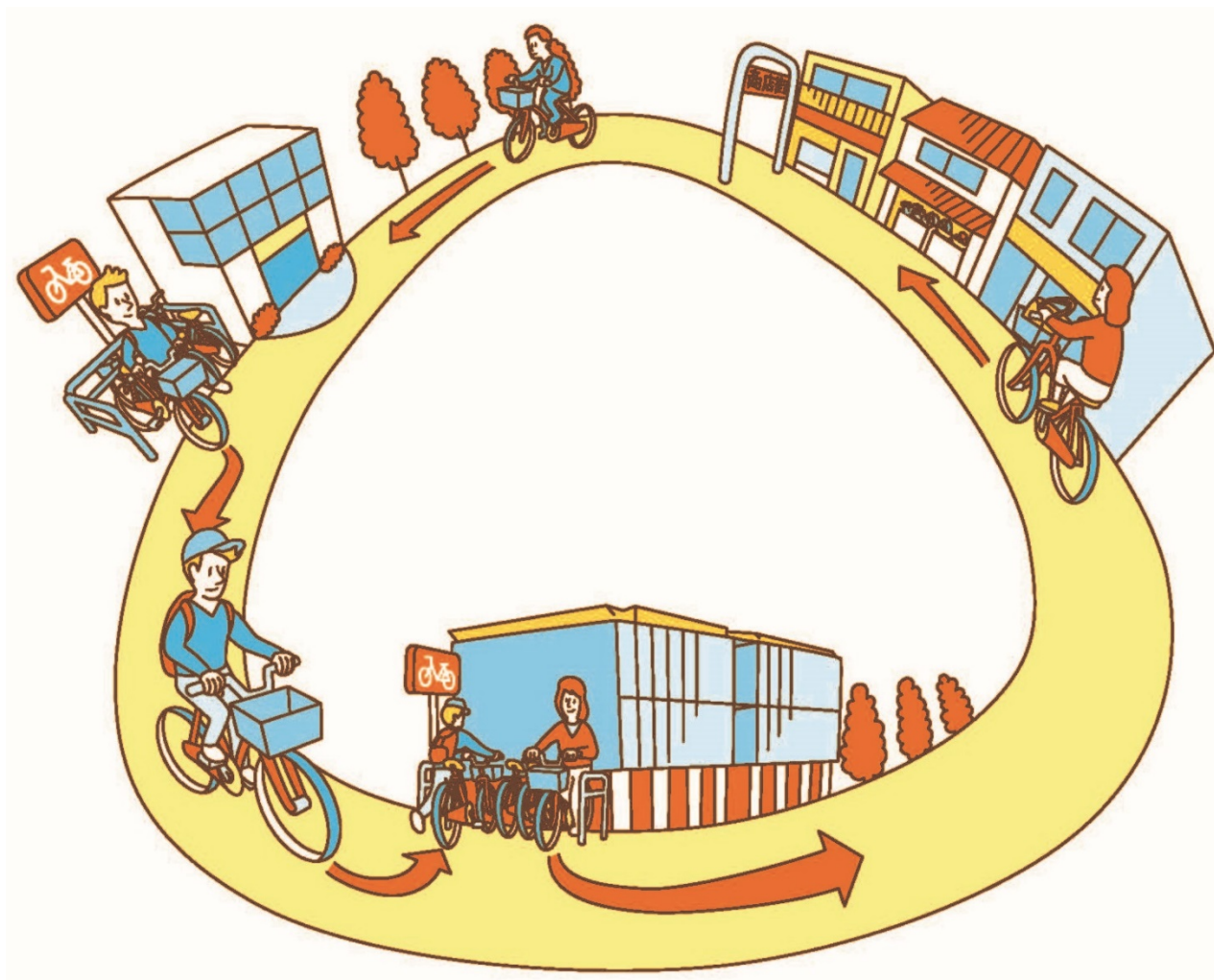
○今日もいつもの商店街プログラム

○ぐるっとおでかけまち歩きプログラム

○賢い自転車利用プログラム

対象 全ての人（自転車使用者）

- ・駅を中心とした地域住民の移動手段の充実や、まちを巡る来街者の移動手段の確保等の観点から、シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討により、自転車利用者の利便性・快適性の向上に取り組みます。



「賢い自転車利用プログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

(3) 賢い自転車利用プログラム 実行に向けた施策

○新たな自転車利用の推進

- ・新たな移動手段の提供として、シェアサイクル事業の実施に向けて、調査・検討を行います。あわせて、民営型シェアサイクル事業の動きを注視し、そのあり方についても検討します。(再掲)
- ・ポートの設置については、公共施設の敷地や民有地の活用を検討します。あわせて、歩行者等の安全で円滑な通行の確保を前提とした、路上へのポート設置についても検討します。(再掲)
- ・シェアサイクル事業の実施にあわせて、「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づき、駅周辺の自転車ネットワーク路線の整備を進めます。(再掲)

〈賢い自転車利用プログラム 施策パッケージ〉

施策 (下段：細施策)	実施工程表 P102 参照
新たな自転車利用の推進	
シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討 (再掲)	

コラム：シェアサイクルについて

- ・シェアサイクルとは、一定の地域内に複数配置されたサイクルポートにおいて自由に貸出・返却できる貸し自転車で、借りたサイクルポートとは異なるサイクルポートに返却することができます。
- ・近年では、民間企業主導での、シェアサイクルサービスが普及しつつあります。
- ・ポートを設けないシェアサイクル事業においては、シェアリングに使用される自転車が道路上に放置されるといった問題も起きているようです。



写真：シェアサイクルのサイクルポート
(千代田区神田錦町付近)

3. 安全・安心

3-1. ホット道路プログラム

【将来交通環境】

誰もが安全に安心して移動できるまち（目標Ⅰ・Ⅱ関連）

- ・地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全かつスムーズに通行できる道路となっています。
- ・歩行者等も自転車利用者も安全に移動できるようになっています。
- ・みんなが交通ルールを守り、歩行者等や自転車利用者がお互いに配慮して道路を利用しています。
- ・平常時も災害時も更に安全な駅・駅前広場になっています。

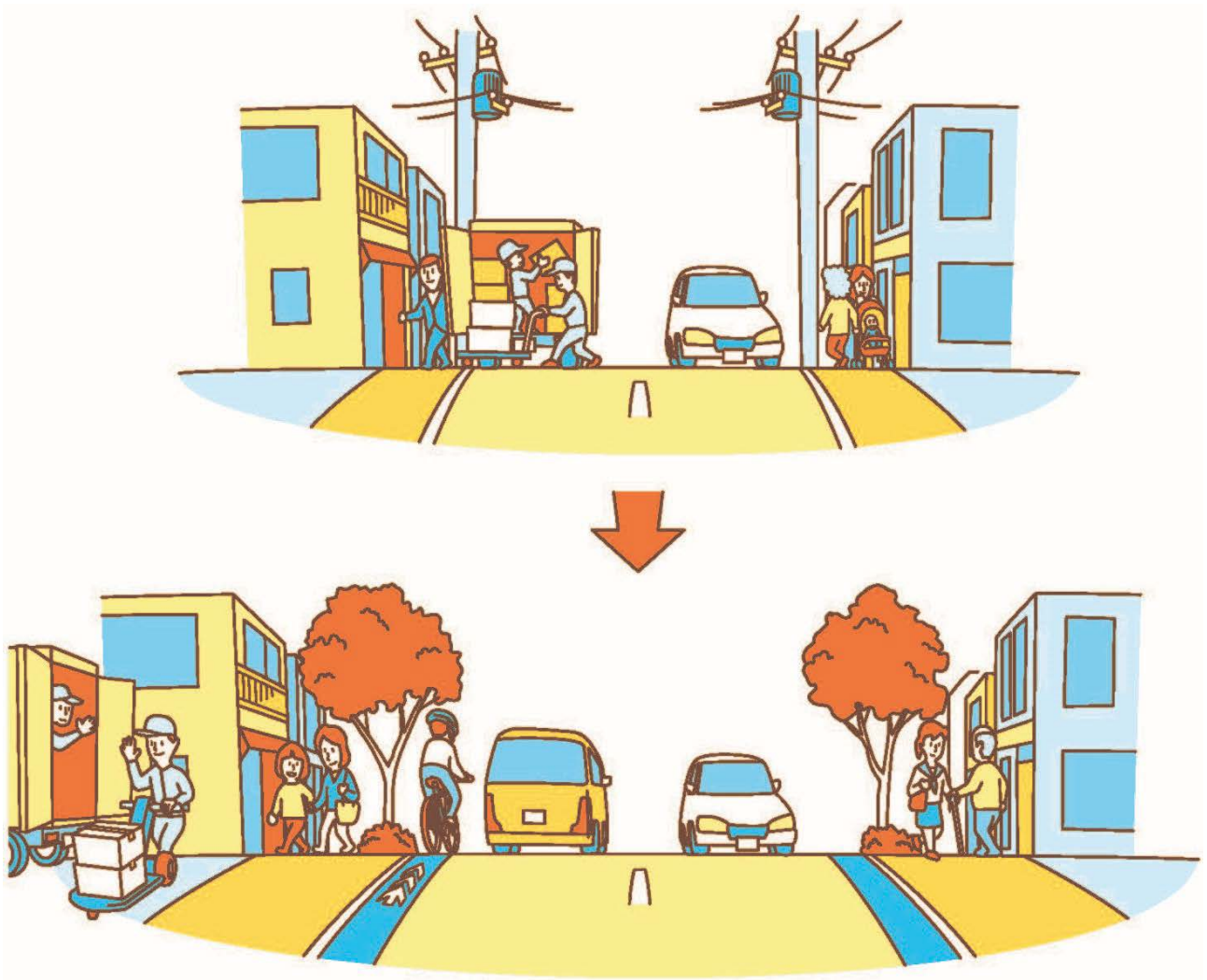
○ホット道路プログラム

対象 主として地域住民

- ・歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上とともに、災害時における円滑な消防活動や救急・救援活動、安全な避難路の確保の観点から、「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」に基づく主要生活道路等の整備や、「杉並区無電柱化推進方針」に基づく無電柱化の推進等により、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全・快適に移動できる道づくりに取り組みます。
- ・交通の安全と円滑化の観点から、まちづくりと連携した駐車場施策や荷捌き環境の改善等に取り組みます。

○みんなに優しい自転車利用プログラム

○頼れるターミナル駅プログラム



「ホッと道路プログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

(1) ホット道路プログラム 実行に向けた施策

○安全で快適な道路の整備

- ・日大通りについては、平成 30 年度に、「すぎなみの道づくり（道路整備方針）」に基づき、主要生活道路の安全対策路線としての整備が完了しました。今後は、同方針に基づき、優先整備路線としての整備を進めます。
- ・「杉並区無電柱化推進方針」に基づき、駅周辺における無電柱化に向けた調査・検討を進めます。
- ・住宅地等において、車両の走行速度抑制や通過交通の排除などの生活道路対策を進めます。
- ・警視庁、東京都等と連携して、イベントやキャンペーン等、交通安全啓発活動に取り組みます。

○荷捌きスペースの確保（再掲）

- ・端末物流対策としては、荷捌き車両と他の交通を空間的・時間的に分離する方策（荷捌きスペースの確保・タイムシェアリングなど）、荷捌き車両の路上駐車抑制（荷捌きルールづくりなど）が挙げられます。（再掲）
- ・路外における荷捌きスペース確保のため、
 - 既存駐車場の一部を活用することについて検討します。（再掲）
 - 一定規模以上の建築物新設の際の荷捌きスペース設置の誘導について検討します。（再掲）
- ・路上空間における荷捌きスペース確保について、区と警視庁等の関係者が連携して検討を進めます。（再掲）
- ・既存駐車場において、荷捌きが集中する時間帯と、駐車需要の少ない時間帯とのマッチングによる荷捌きスペースの確保を検討します。（再掲）
- ・更なる荷捌き対策の充実に向け、シェアリングエコノミーを活用した住宅地における荷捌き車両対策や、附置義務駐車場の共同荷捌きへの活用に向けた駐車場地域ルールの策定、共同荷捌き場の整備などについて、地域住民や商店会などの関係者との協議を踏まえながら、調査・検討に取り組みます。また、荷捌き対策の充実と、商店街における賑わいの連続性の確保の両立を目指し、駐車場の適切な立地誘導に向けた調査・検討に取り組みます。（再掲）
- ・警視庁が路上駐車取締りを強化します。（再掲）

〈ホッと道路プログラム 施策パッケージ〉

施策 (下段：細施策)	実施工程表 P102 参照
安全で快適な道路の整備	
主要生活道路（日大通り）の整備	
駅周辺における無電柱化の調査・検討	
住宅地等における生活道路対策の実施	
交通安全啓発活動の実施	
荷捌きスペースの確保（再掲）	
既存駐車場を活用した荷捌きスペースの確保（再掲）	
一定規模以上の建築の際の荷捌きスペース設置の誘導（再掲）	
路上空間における荷捌きスペース確保（再掲）	
既存駐車場のタイムシェアリング（再掲）	
荷捌き対策の更なる充実化に関する調査・検討・協議（再掲）	
路上駐車取締りの強化（再掲）	

コラム：ゾーン 30 について

- ・ゾーン 30 は、生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策の一つです。
- ・区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内におけるクルマの走行速度や通り抜けを抑制します。



写真：ゾーン 30 を指定している住宅地（杉並区内）

3-2. みんなに優しい自転車利用プログラム

【将来交通環境】

誰もが安全に安心して移動できるまち（目標Ⅰ・Ⅱ関連）

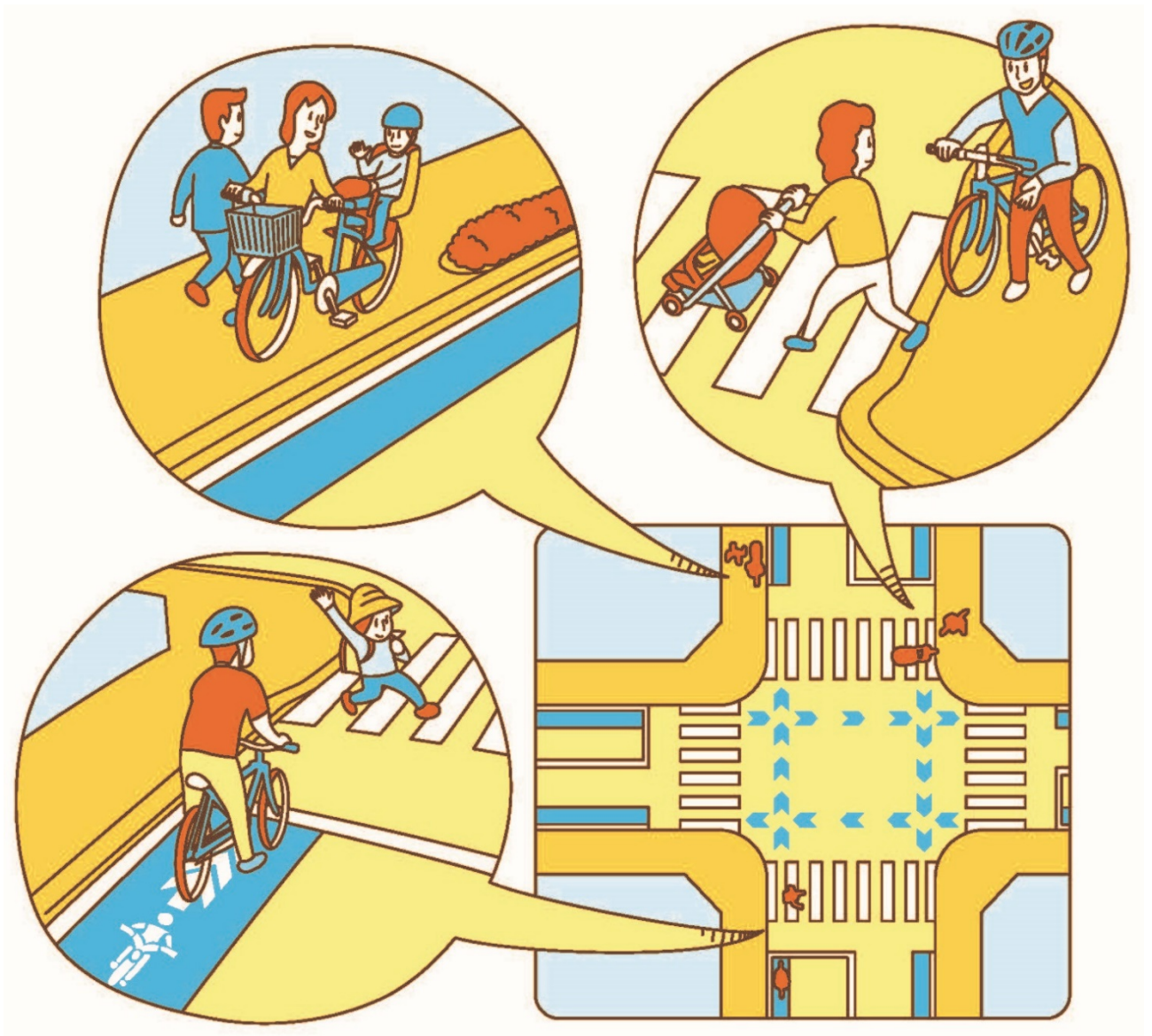
- ・地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全かつスムーズに通行できる道路となっています。
- ・歩行者等も自転車利用者も安全に移動できるようになっています。
- ・みんなが交通ルールを守り、歩行者等や自転車利用者がお互いに配慮して道路を利用しています。
- ・平常時も災害時も更に安全な駅・駅前広場になっています。

○ホッと道路プログラム

○みんなに優しい自転車利用プログラム **対象** 主として地域住民

- ・歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上の観点から、「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づく自転車ネットワーク路線の整備に取り組みます。
- ・また、交通安全対策として、自動車の交通量や速度の抑制対策、自転車利用者の運転マナー向上や交通ルール順守への意識啓発等に取り組みます。

○頼れるターミナル駅プログラム



「みんなに優しい自転車利用プログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

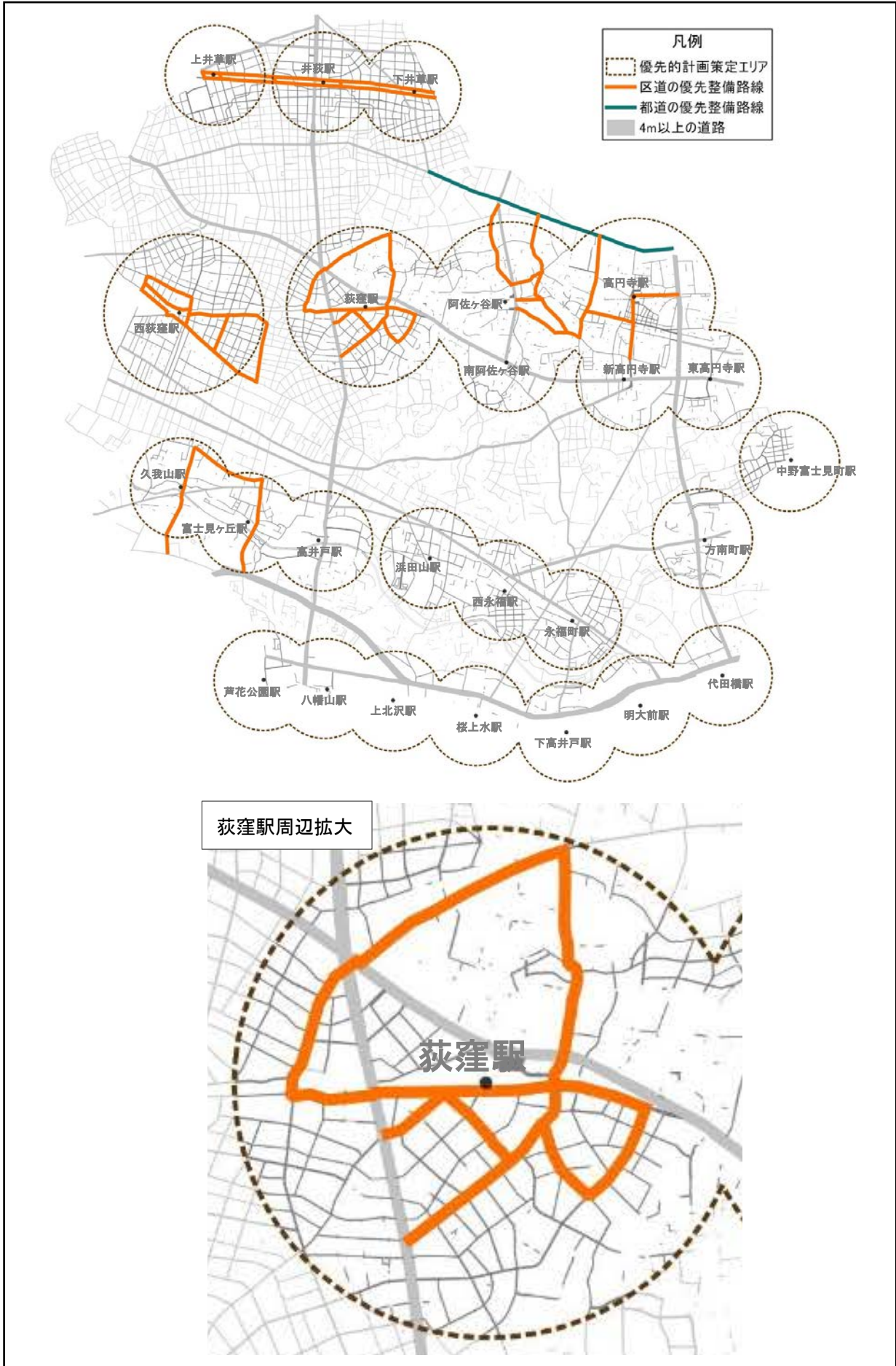
(2) みんなに優しい自転車利用プログラム 実行に向けた施策

○自転車と歩行者・自動車が共存できる環境整備

- ・商店街での買い物を快適に楽しめるよう、歩行者等に優しい自転車の押し歩きなど、それぞれの商店街の実情に合わせた独自のルールを定め、周知を行うとともに、マナー向上に取り組みます。また、警視庁、東京都や、小中学校、自転車関係事業者、商店会等と連携し、幅広い自転車利用者に対して自転車の交通ルール等の周知を図るキャンペーン活動等に取り組みます。(再掲)
- ・「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づき、駅周辺の自転車ネットワーク路線の整備を進めます。
- ・荻窪地下道通行時における自転車通行ルールの周知を進めます。(再掲)

〈みんなに優しい自転車利用プログラム 施策パッケージ〉

施策 (下段：細施策)	実工程表 P103 参照
自転車と歩行者・自動車が共存できる環境整備	
商店街等の歩きやすい歩行環境づくり (再掲)	
駅周辺の自転車ネットワーク路線の整備	
荻窪地下道通行時の自転車通行ルールの周知 (再掲)	



図：杉並区自転車ネットワーク優先整備路線図

【出典】：『杉並区自転車ネットワーク計画』（平成 29 年 3 月、杉並区）

3-3. 頼れるターミナル駅プログラム

【将来交通環境】

誰もが安全に安心して移動できるまち（目標Ⅰ・Ⅱ関連）

- ・ 地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全かつスムーズに通行できる道路となっています。
- ・ 歩行者等も自転車利用者も安全に移動できるようになっています。
- ・ みんなが交通ルールを守り、歩行者等や自転車利用者がお互いに配慮して道路を利用しています。
- ・ 平常時も災害時も更に安全な駅・駅前広場になっています。

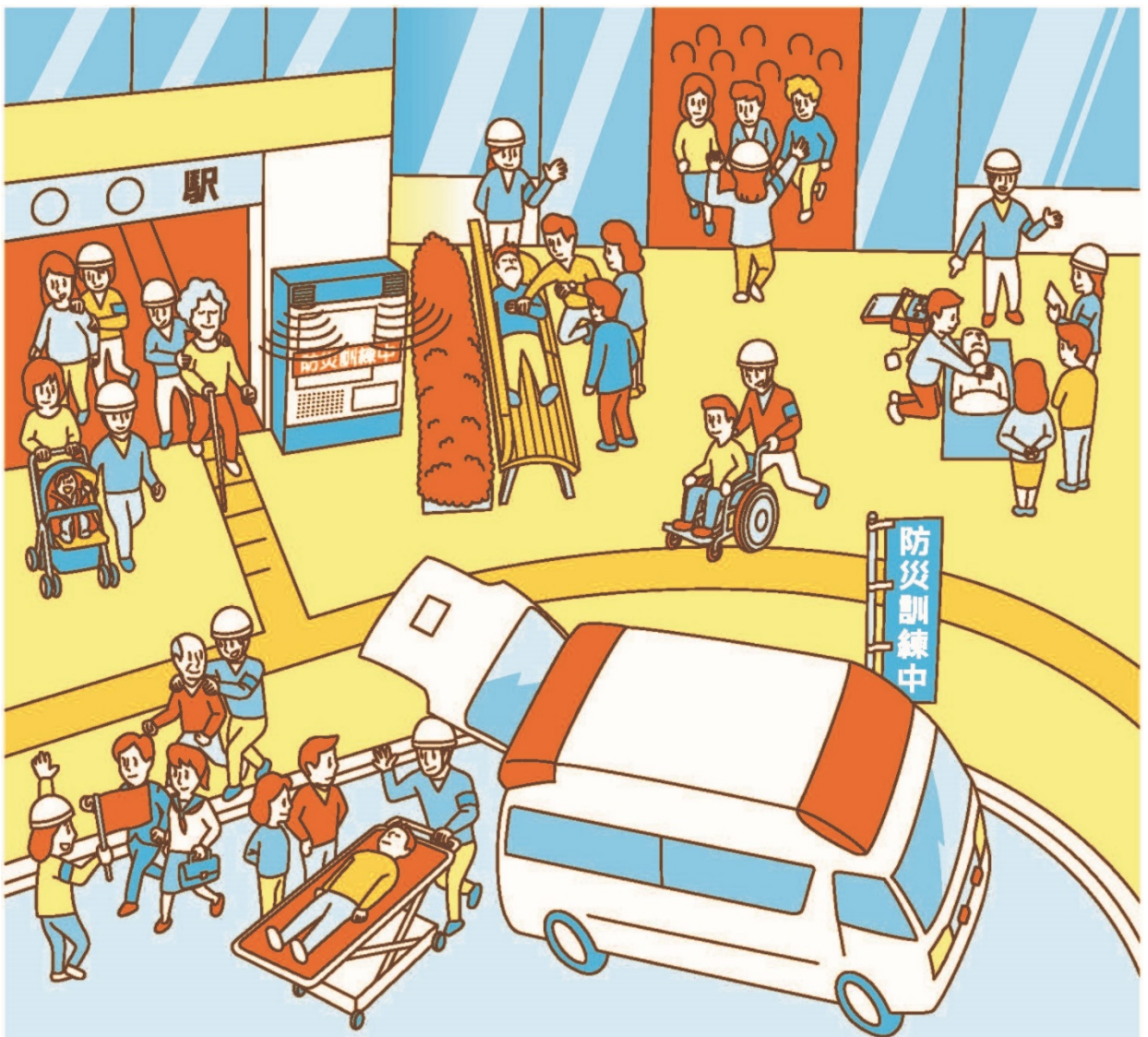
○ホッと道路プログラム

○みんなに優しい自転車利用プログラム

○頼れるターミナル駅プログラム

対象 全ての人

- ・ 災害時の滞留機能の向上の観点から、駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえ、駅前広場等の駅周辺の基盤整備等に取り組みます。
- ・ 鉄道事業者等の関係者と連携を図りながら、駅と駅前広場等の駅周辺の更なる安全性確保に取り組みます。



「頼れるターミナル駅プログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

4. 将来の社会変化

4-1. 新技術活用プログラム

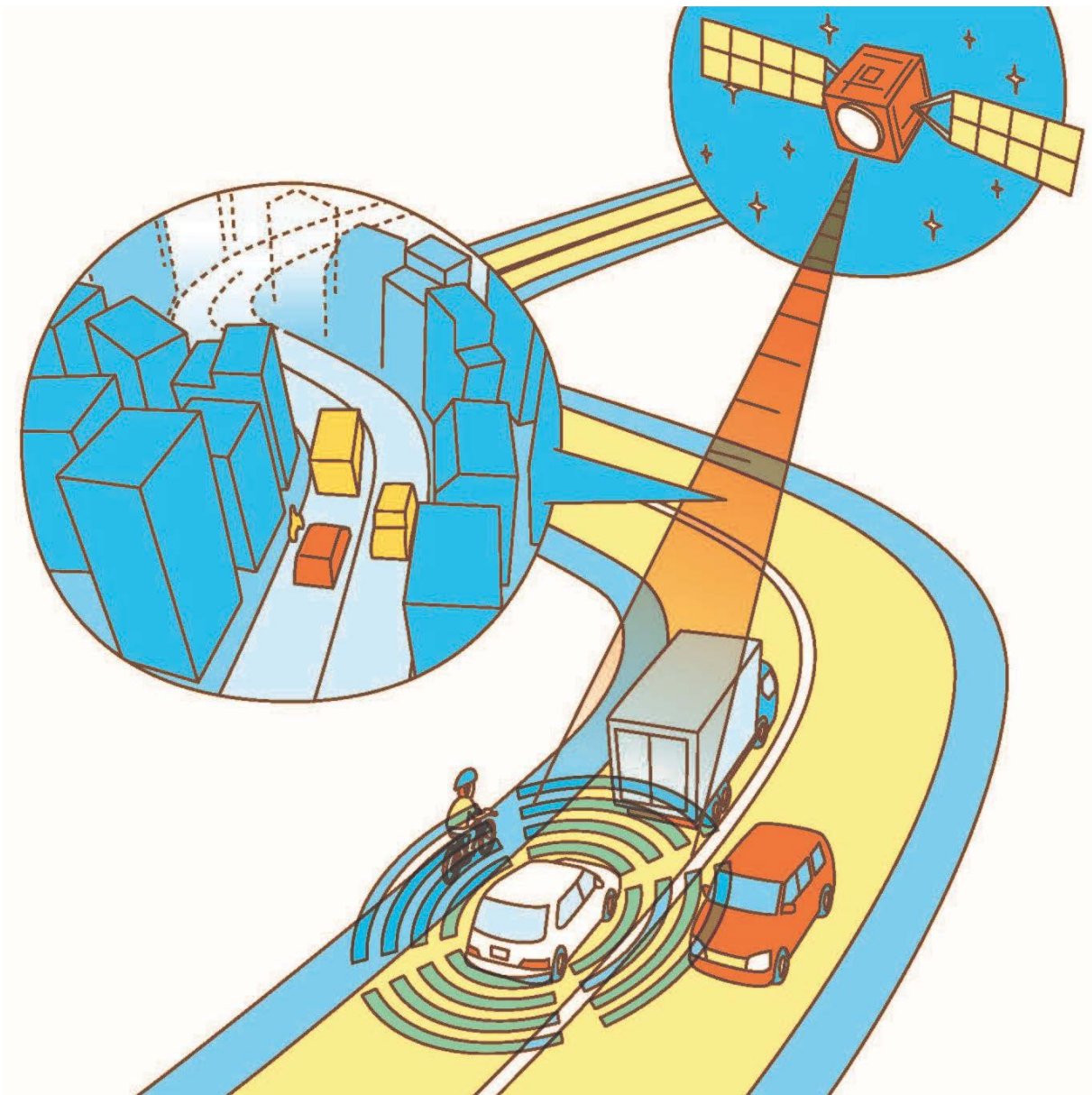
【将来交通環境】

新たな技術等を生かした安全で快適に移動できるまち

○新技術活用プログラム

対象 全ての人

- ・社会経済状況の変化や新たな技術開発の動向等を踏まえ、高齢者等の移動支援や効率的な物流の確保の観点から、自動運転技術等、様々な新しい技術の活用の可能性について調査・検討を進めます。



「新技術活用プログラム」で実現したい荻窪駅周辺の将来イメージ

(1) 新技術活用プログラム 実行に向けた施策

○新たな技術の活用

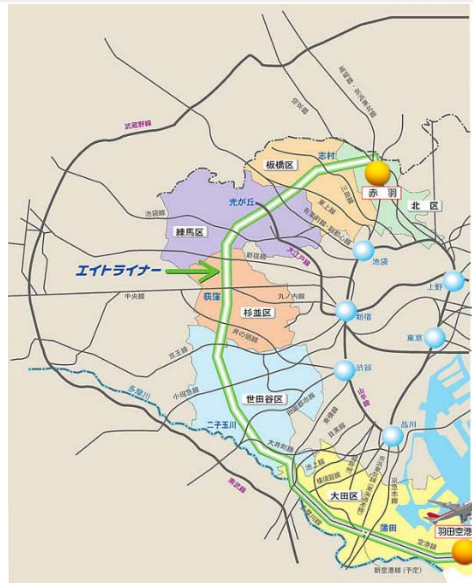
- ・交通事故の低減や高齢者等の移動支援、物流の新たな手段等への将来的な活用を視野に、自動運転公道実証実験等に協力します。

〈新技術活用プログラム 施策パッケージ〉

施策 (下段：細施策)	実施工程表 P104 参照
新たな技術の活用	
自動運転公道実証実験への協力	

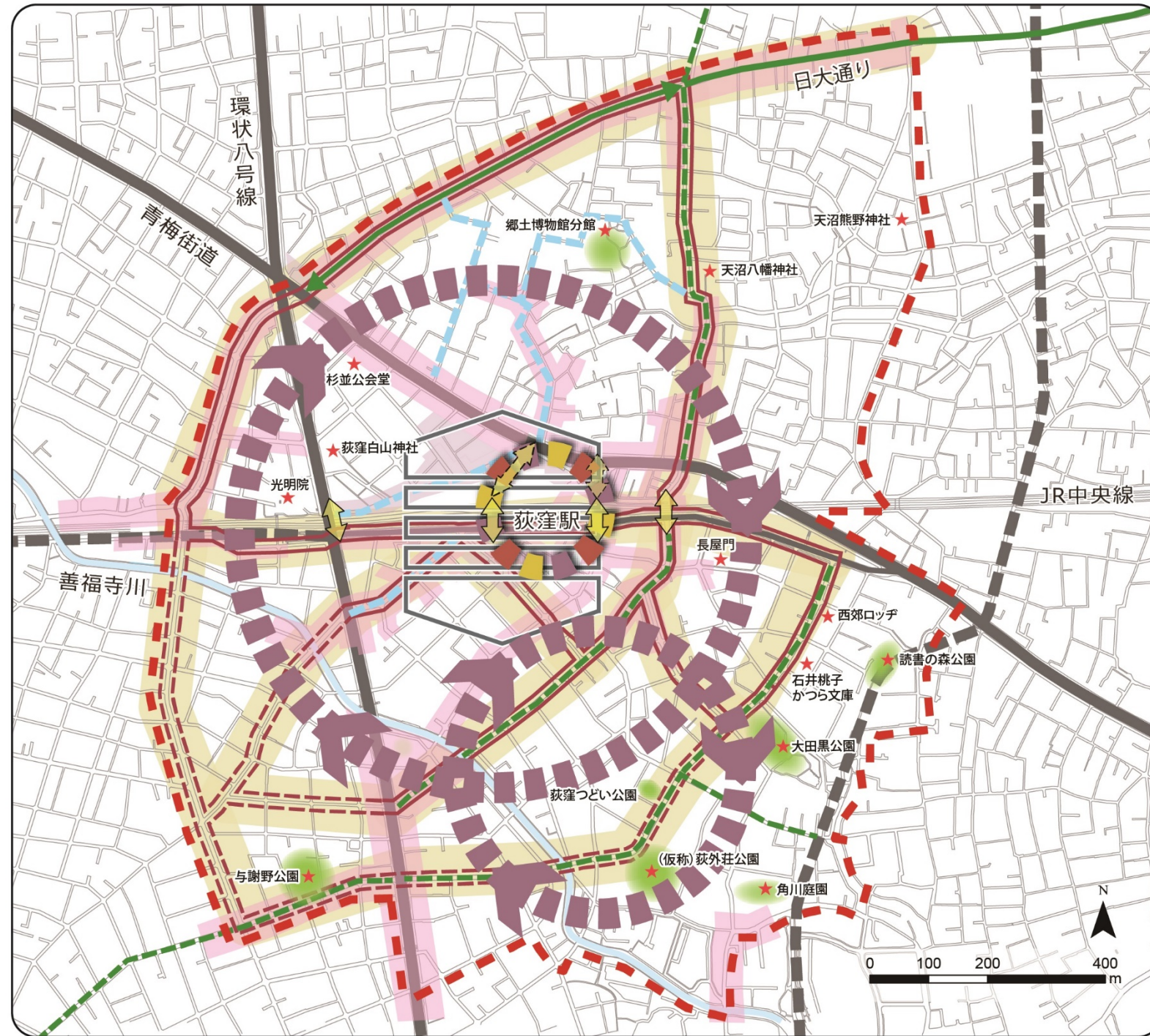
コラム：エイトライナーについて







- ・エイトライナーとは、環八通りの地下などを利用して、羽田空港と赤羽駅とを結び、大田区、世田谷区、杉並区、練馬区、板橋区、北区を通る、環状鉄道計画です。
- ・「平成28年4月 交通政策審議会答申第198号」において「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」として位置付けられたエイトライナーについて、構想実現に向けて、関係地方公共団体等と連携し、調査を進めています。



図：エイトライナー整備構想図
【出典】エイトライナー促進協議会 HP

【都市総合交通戦略における将来交通の姿】
















- 
 - 駅と一体となった南北連絡動線の改善等
 - 荻窪地下道及び環八通り地下通路の改善等
- 
 - 駅周辺の開発にあわせた基盤整備
 - JR・メトロ間等の乗換え経路の改善
 - まちへ誘うにぎわい拠点の整備
 - わかりやすい案内・誘導サインの整備
 - 駅や駅周辺における安全性の向上
- 
 - まちのなかでくつろぎ楽しめる空間の創出
 - 荷捌きスペースの確保（※商店街周辺も含む）
- 
 - 駅周辺の回遊性の向上
- 
 - 安全で快適な道路の整備
 - 自転車と歩行者・自動車が共存できる環境整備
- 

[対象区域全域に係る施策]

 - 新たな自転車利用の推進
 - 新たな技術の活用

地図に関する凡例

- | | | |
|---|--|---|
|  都市計画道路 |  交通戦略の対象区域 |  公園 |
|  都市計画道路（未整備） |  自転車ネットワーク路線 ※1
（優先整備路線） |  歴史的・文化的資源 |
|  主要生活道路
（優先整備路線・安全対策路線） |  自転車ネットワーク路線 |  南北連絡動線 |
|  主要生活道路（優先整備路線） |  商店街 | |
|  主要生活道路 | | |
|  主な主要区画道路等の整備路線 | | |
- ※1 「自転車ネットワーク路線」
「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づく、路面標示などにより安全な自転車通行空間を連続的に整備する路線

施策に関する凡例

1. 南北移動・交通接結に関する施策
2. 利便性・にぎわい・回遊性に関する施策
3. 安全・安心に関する施策
4. 将来の社会変化に関する施策

※主な施策の対象位置を示しています。
必要に応じて、対象区域全域においても施策の実施を検討します。

【都市総合交通戦略における施策の対象位置】

●対象区域全域に係る施策

買い物客用駐輪スペースの充実に向けた既存制度の効果的な運用
ゆとりある快適な歩行空間の形成に向けた活動の支援
既存駐車場を活用した荷捌きスペースの確保
一定規模以上の建築の際の荷捌きスペース設置の誘導
路上空間における荷捌きスペース確保
既存駐車場のタイムシェアリング
荷捌き対策の更なる充実化に関する調査・検討・協議
路上駐車取締りの強化
シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討（再掲）

駅周辺における無電柱化の調査・検討
住宅地等における生活道路対策の実施
交通安全啓発活動の実施
駅周辺の自転車ネットワーク路線の整備
帰宅困難者支援マップの作成・配布
自動運転公道実証実験への協力

施策に関する凡例

1. 南北移動・交通接結に関する施策
2. 利便性・にぎわい・回遊性に関する施策
3. 安全・安心に関する施策
4. 将来の社会変化に関する施策

地図に関する凡例

交通戦略の対象区域
商店街
駅前大規模商業施設の機能更新期をとらえた駅周辺の基盤整備
南北連絡動線
主要生活道路（優先整備路線）
荻窪駅周辺における無電柱化による整備効果が高い路線
トランスボックスラッピング

●商店街に係る施策

商店街における交通課題等の共有・機運の醸成
店舗前面（民地）での椅子等の設置による憩いの場づくり
商店街等の歩きやすい歩行環境づくり
ポケットパーク等の憩いの場づくり
買い物客用駐輪スペースの創出
道路不正使用合同取締りの実施
歴史的・文化的資源と商店街との連携事業の実施

●駅周辺の回遊性向上に係る施策

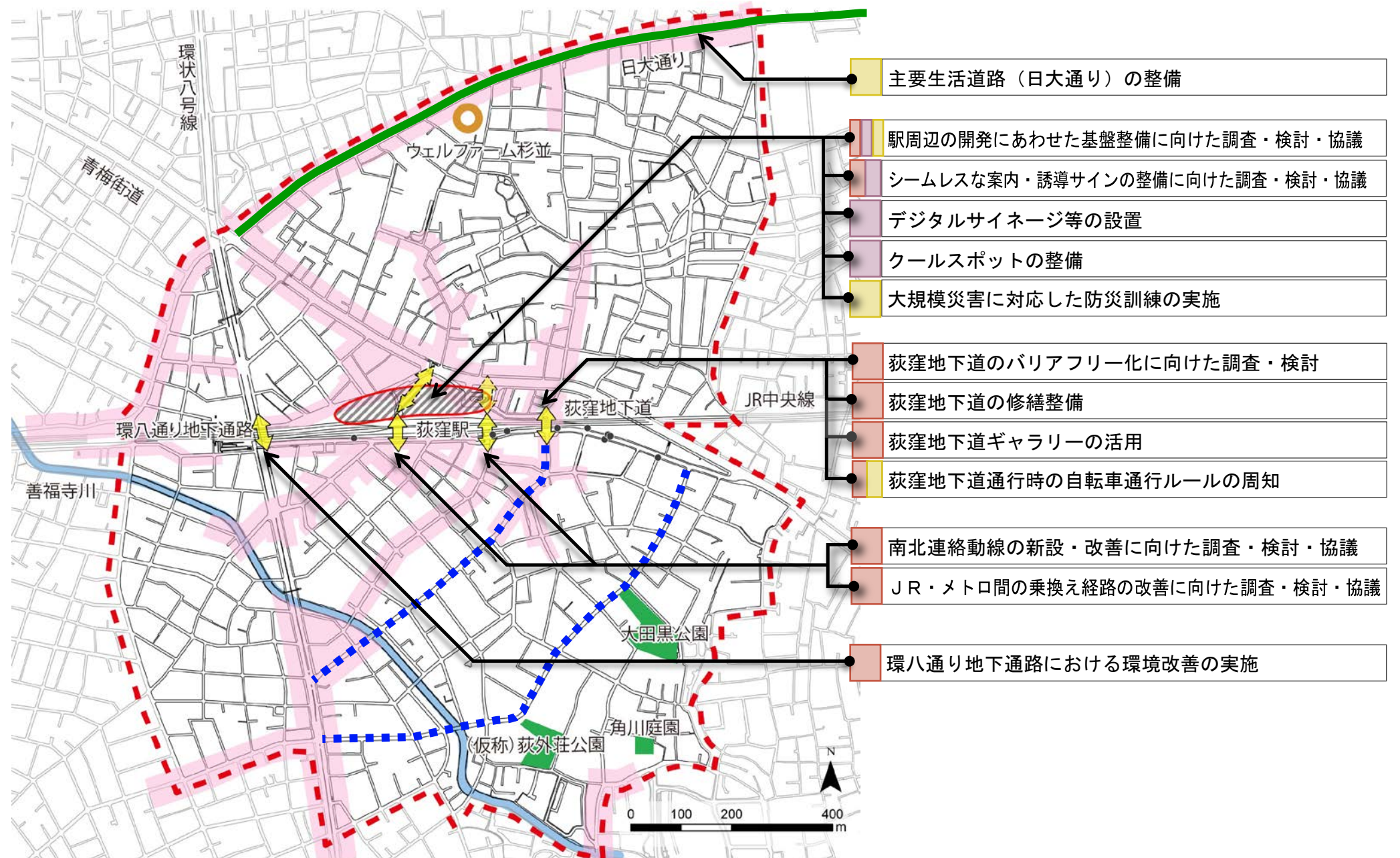
（仮称）荻窪駅南側エリア回遊性向上アクションプランの策定
歴史に触れる案内・誘導サインの設置
散策ルートでのPR
歴史的・文化的資源間の連携事業の実施
シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討
歴史的・文化的資源における使いやすい駐輪スペースの整備
観光バス等の利用環境の確保に向けた調査・検討
トランスボックスラッピングの周知

●トランスボックスに係る施策

トランスボックスを活用した案内・誘導

●JR荻窪駅 改札内に係る施策

ホームドア設置の推進



【都市総合交通戦略の構成の全体像】

荻窪駅周辺交通環境に関する現状と課題

荻窪駅周辺の将来交通環境
(将来交通の姿)

戦略目標
将来交通環境の実現に向けた具体的な取組方針

施策パッケージ
戦略目標を実現するための実施メニュー

1. 南北移動・交通結節

(1) 南北連絡動線と駅利用の利便性・快適性

- 1) 動線
 - ・動線の錯綜、混雑（東口改札前地下通路）
- 2) 滞留空間
 - ・待ち合わせスペース不足（東口改札前地下通路）
 - ・「災害時や夜間の通行もできるよう、常時開放が必要」（東口改札前地下通路）
- 3) 周辺状況
 - ・駅前大規模商業施設の更新と駅改修との一体的な検討が必要
- 4) バリアフリー、通行環境
 - ・昇降設備未整備（荻窪地下道、環八通り地下通路）、老朽化（荻窪地下道）
 - ・通行環境の改善が必要（荻窪地下道、環八通り地下通路）

**南北を気軽に
行き来できるまち**

・まちを分断している鉄道や幹線道路を意識せず、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全・快適に南北を行き来できるようになっています。

らくらく南北往来プログラム

主として交通弱者をはじめとした歩行者等の安全で円滑な移動や、地上駅である鉄道や幹線道路による地域の分断の解消、まちの回遊性向上の観点から、

- ・駅と一体となった南北連絡動線について、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査・検討・協議を進め、その充実に取り組めます。
- ・荻窪地下道について、移動円滑化や環境改善に取り組めます。環八通り地下通路については、主に環境改善に取り組めます。

らくらく南北往来プログラム 対象 **全ての人**

- **駅と一体となった南北連絡動線の改善等**
 - 南北連絡動線の新設・改善に向けた調査・検討・協議 **重点**
- **荻窪地下道及び環八通り地下通路の改善等**
 - 荻窪地下道のバリアフリー化に向けた調査・検討 **重点**
 - 荻窪地下道の修繕整備 **重点**
 - 荻窪地下道ギャラリーの活用 **重点**
 - 荻窪地下道通行時の自転車通行ルールの周知
 - 環八通り地下通路における環境改善の実施

(2) 駅前広場のターミナル機能

- 1) 整備状況
 - ・駅前広場の面積不足（北口）
 - ・広場整備に向けた用地確保のあり方の検討が必要（南口）
- 2) ターミナル機能
 - ・「起終点となる全てのバスのりばのロータリー内への設置が望ましい。」（北口）
 - ・バス降車スペース不足（北口）
 - ・タクシープール未整備（南口）
 - ・タクシー降車スペース、自家用車送迎用スペース未整備（北口、南口）
 - ・バス、その他の自動車、歩行者等との交錯（北口、南口）
- 3) 周辺状況
 - ・駅前広場機能の充実に資する共同建替えや協調的な土地利用の誘導が必要（北口駅前広場に隣接した街区）
- 4) 駅との連絡機能・案内誘導
 - ・バスのりばの案内誘導が不十分

**乗り換えしやすい駅・
駅前広場があるまち**

・迷わず、スムーズに乗り換えられるターミナル駅となっています。

すいすい乗換えプログラム

区内最大の交通結節点として、利便性・快適性を更に高める観点から、

- ・バス・タクシーなどのターミナル機能、駅との連絡機能等の充実に向け、区と鉄道事業者等の関係者が連携を図り、調査・検討・協議を進め、駅前広場等の駅周辺の基盤整備等に取り組めます。
- ・JR・メトロ間等の乗換え経路の改善に向けた検討・協議や、駅とバスのりば間のシームレスな案内・誘導に取り組めます。

すいすい乗換えプログラム 対象 **全ての人**

- **駅周辺の開発にあわせた基盤整備**
 - 駅周辺の開発にあわせた基盤整備に向けた調査・検討・協議 **重点**
- **JR・メトロ間等の乗換え経路の改善**
 - JR・メトロ間の乗換え経路の改善に向けた調査・検討・協議
 - シームレスな案内・誘導サインの整備に向けた調査・検討・協議 **重点**

2 利便性・にぎわい・回遊性

(1) 駅前広場、商店街などにおけるオープンスペース・歩行環境

- 1) 駅前広場の交流機能
 - ・オープンスペース不足（北口）
- 2) まちなかでの休息
 - ・「まちなかに人が休息できる場所が少ない」
- 3) 商店街での自転車利用状況
 - ・一部の商店街で、歩行者と自転車とが錯綜
 - ・一部の商店街で、買い物客等の放置自転車が目立つ
 - ・「自転車での買い物の際に、いつも駐輪場の心配が必要で困る」
- 4) 商店街での歩行環境
 - ・道路の段差や凹凸、放置自転車等で歩行者が歩きづらい
- 5) 荷捌き状況
 - ・端末物流における路上の荷捌きがまちなかの回遊性を阻害（商店街）

**普段の買い物・まち歩きを
快適に楽しめるまち**

- ・区内最大の乗降人員を有する荻窪駅の、乗り換え客を含む日常的な利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しむ、にぎわいと交流が生まれています。
- ・駅前広場では、イベントや憩いのひとときを楽しむことができます。
- ・歩行空間にある様々なバリアがなくなり、充実した案内・誘導サインや休憩スポット等により、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、商店街等を楽しみ、快適に移動できています。
- ・地域の日常生活を支える「モノの流れ」と、「人の流れ」が共存しています。
- ・（仮称）荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園などを巡るまち歩きの際に、商店街も散策し、食事や買い物などを楽しむことができます。
- ・地域住民が、歴史的・文化的資源の再発見により、地域への愛着や誇りに思う気持ちが深まっています。これにより、地域を訪れる来街者に対しておもてなしの心が生まれ、イベントなどの機会を通じて、来街者との活発な交流が生まれています。
- ・自転車を便利に、快適に、効率よく使っています。

今日もいつもの商店街プログラム

- ・駅周辺のにぎわいと交流を高めるきっかけをつくる観点から、乗換え客を含む日常的な駅の利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しむよう、まちの玄関口としての駅前広場の交流機能の向上などに取り組めます。
- ・まちなかのにぎわいの創出や、ユニバーサルデザインの観点から、商店街などの買い物道路について、年齢や障害の有無などに関わらず、また、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全で快適に買い物を楽しめる空間の確保に取り組めます。
- ・まちなかのにぎわいの創出や、人の流れと地域の日常生活を支える物流との調和の観点から、まちづくりと連携した駐車場施策や荷捌き環境の改善等に取り組めます。

(2) 地域資源等の回遊性

- 1) 駅や駅前広場における案内・誘導
 - ・駅周辺施設へのアクセスについて一定数が「分かりにくい」（荻窪駅・駅前）
 - ① 案内・誘導（共通事項）
 - ・「案内標識や誘導サインが分かりにくい状況」
 - ・路線バスでの多言語化は、実施のレベルを検討している段階
 - ・「多言語化よりも、ピクトグラムを活用したほうが良い」
 - ② 案内・誘導（駅構内）
 - ・「分かりにくい」と感じる来街者が一定数存在し、改善の余地がある
 - ③ 案内・誘導（地上部）
 - ・目的施設への行き方に関する利用者からの問合せも多い
- 2) 駅周辺施設へのアクセス状況
 - ① 駅北側エリアの公共・公益施設へのアクセス性
 - ・「分かりにくい」と感じる来街者が一定数存在し、改善の余地がある
 - ・青梅街道での観光バス乗降により、円滑な道路交通への影響が懸念
 - ② 駅南側エリアの地域資源へのアクセス性
 - ・駅周辺の道路は、方向を見失いやすい線形
 - ・「分かりにくい」と感じる来街者が一定数存在し、改善の余地がある
 - ・歴史的・文化的資源の集積を生かした観光まちづくりの推進の必要性
 - ・地域資源への訪問の際に「まち歩きマップ、パンフレット」・「案内看板」へのニーズが高い
 - ・青梅街道での観光バス乗降により、円滑な道路交通への影響が懸念

ぐるっとおでかけまち歩きプログラム

- ・来街者のまちなかの回遊性を向上させる観点から、駅構内と地上部との連続性を考慮した、わかりやすくシームレスな案内・誘導サインの整備に取り組めます。
- ・駅周辺のにぎわいと交流を高めるきっかけをつくる観点から、乗換え客を含む日常的な駅の利用者等が、気軽に荻窪のまちに出て楽しむよう、まちの玄関口としての駅前広場の交流機能の向上などに取り組めます。（再掲）
- ・数多く点在する歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりと、これを通じた地域への愛着や誇りを育む観点から、復原・整備を行う荻外荘と、大田黒公園や角川庭園等の周辺施設との連携を意識した上で、ハード・ソフトの両面から、回遊性の向上に取り組めます。

(3) 自転車利用の利便性

- 1) 新たな活用スタイル
 - ・シェアサイクルに対する区民の関心の高まり

賢い自転車利用プログラム

- ・駅を中心とした地域住民の移動手段の充実や、まちを巡る来街者の移動手段の確保等の観点から、シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討により、自転車利用者の利便性・快適性の向上に取り組めます。

今日もいつもの商店街プログラム

対象 主として地域住民

- まちへ誘うにぎわい拠点の整備
 - 駅周辺の開発にあわせた基盤整備に向けた調査・検討・協議 **重点** **再掲**
 - クールスポットの整備 **重点**
- まちなかでのくつろぎ楽しめる空間の創出
 - 商店街における交通課題等の共有・機運の醸成 **重点**
 - 店舗前面（民地）での椅子等の設置による憩いの場づくり
 - 商店街等の歩きやすい歩行環境づくり **重点**
 - ポケットパーク等の憩いの場づくり
 - 買い物客用駐輪スペースの創出
 - 道路不正使用合同取締りの実施
 - 買い物客用駐輪スペースの充実に向けた既存制度の効果的な運用 **重点**
 - ゆとりある快適な歩行空間の形成に向けた活動の支援
- 荷捌きスペースの確保
 - 既存駐車場を活用した荷捌きスペースの確保
 - 一定規模以上の建築の際の荷捌きスペース設置の誘導
 - 路上空間における荷捌きスペース確保
 - 既存駐車場のタイムシェアリング
 - 荷捌き対策の更なる充実化に関する調査・検討・協議
 - 路上駐車取締りの強化

ぐるっとおでかけまち歩きプログラム

対象 主として来街者

- わかりやすい案内・誘導サインの整備
 - デジタルサイネージ等の設置 **重点**
 - シームレスな案内・誘導サインの整備に向けた調査・検討・協議 **重点** **再掲**
 - トランスボックスを活用した案内・誘導
- まちへ誘うにぎわい拠点の整備 **再掲**
 - 駅周辺の開発にあわせた基盤整備に向けた調査・検討・協議 **重点** **再掲**
 - 歴史的・文化的資源と商店街との連携事業の実施

- 駅周辺の回遊性の向上
 - （仮称）荻窪駅南側エリア回遊性向上アクションプランの策定 **重点**
 - 歴史に触れる案内・誘導サインの設置
 - 散策ルートのPR
 - 歴史的・文化的資源間の連携事業の実施
 - シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討 **重点**
 - 歴史的・文化的資源における使いやすい駐輪スペースの整備
 - 観光バス等の利用環境の確保に向けた調査・検討
 - トランスボックスラッピングの周知

賢い自転車利用プログラム

対象 全ての人(自転車利用者)

- 新たな自転車利用の推進
 - シェアサイクル事業の実施に向けた調査・検討 **重点** **再掲**

荻窪駅周辺交通環境に関する現状と課題

荻窪駅周辺の将来交通環境
(将来交通の姿)

戦略目標
将来交通環境の実現に向けた具体的な取組方針

施策パッケージ
戦略目標を実現するための実施メニュー

3 安全・安心

(1) 安全・安心な道路空間

1) 道路整備

- ・「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」に基づき、主要生活道路の優先整備路線は、平成37年度までに事業着手を、安全対策路線は、平成37年度までに対策実施を目指す
- ・幹線道路以外で歩道が設置されている道路は、駅南側エリアの数路線のみ
- ・幅員4m未満の道路が特に多い(青梅街道北側エリア)

2) 無電柱化

- ・青梅街道(一部除く)、白山通り、補助131号線(南口駅前通り)は無電柱化
- ・「杉並区無電柱化推進方針」に基づき、今後無電柱化を推進

3) 交通

- ・歩行者等と自転車・自動車との交錯、広範囲で事故が発生
- ・青梅街道・環状8号線は、通過交通も多く、事故発生が多い
- ・青梅街道と補助131号線(南口駅前通り)で、歩行者の乱横断が多い
- ・自転車通行空間上に駐停車された車両を避けるために、車道走行している自転車が、自動車と接触しそうな状況
- ・工事用車両や荷捌き車両の駐停車により、幹線道路で渋滞が発生

(2) 安全な自転車利用

1) 事故発生状況

- ・荻窪署管内の交通事故の自転車関与率が約6割を占め、都内平均より約1割高い
- ・荻窪署管内の自転車関与事故件数は、他警察署、区平均より高い

2) 自転車の利用状況

- ・歩道通行時のルールが守られていない状況が多い
- ・生活道路等を、スピードを緩めず、歩行者の間をすり抜けて走る自転車が多い

(3) ターミナル駅としての安全・安心

1) ホームドア

- ・東京メトロ丸ノ内線：ホームドアの整備が完了
- ・JR中央快速線：2020年第2四半期から2025年度末までに整備予定
- ・JR総武緩行線：2032年度末頃までに整備予定

2) 災害時の対応

- ・「災害時に来街者の一時滞留空間となるような広場・オープンスペースが不足」

誰もが安全に
安心して移動できるまち

- ・地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全かつスムーズに通行できる道路となっています。
- ・歩行者等も自転車利用者も安全に移動できるようになっています。
- ・みんなが交通ルールを守り、歩行者等や自転車利用者がお互いに配慮して道路を利用しています。
- ・平常時も災害時も更に安全な駅・駅前広場になっています。

ホッと道路プログラム

- ・歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上とともに、災害時における円滑な消防活動や救急・救援活動、安全な避難路の確保の観点から、「すぎなみの道づくり(道路整備方針)」に基づく主要生活道路等の整備や、「杉並区無電柱化推進方針」に基づく無電柱化の推進等により、地域住民はもとより、来街者も含む誰もが、安全・快適に移動できる道づくりに取り組みます。
- ・交通の安全と円滑化の観点から、まちづくりと連携した駐車場施策や荷捌き環境の改善等に取り組みます。

みんなに優しい自転車利用プログラム

- ・歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上の観点から、「杉並区自転車ネットワーク計画」に基づく自転車ネットワーク路線の整備に取り組みます。
- ・また、交通安全対策として、自動車の交通量や速度の抑制対策、自転車利用者の運転マナー向上や交通ルール順守への意識啓発等に取り組みます。

頼れるターミナル駅プログラム

- ・災害時の滞留機能の向上の観点から、駅前大規模商業施設の機能更新期や周辺街区での共同建替え等の機会をとらえ、駅前広場等の駅周辺の基盤整備に取り組みます。
- ・鉄道事業者等の関係者と連携を図りながら、駅と駅前広場等の駅周辺の更なる安全性確保に取り組みます。

新技術活用プログラム

- ・社会経済状況の変化や新たな技術開発の動向等を踏まえ、高齢者等の移動支援や効率的な物流の確保の観点から、自動運転技術等、様々な新しい技術の活用の可能性について調査・検討を進めます。

ホッと道路プログラム

対象 主として地域住民

● 安全で快適な道路の整備

- 主要生活道路(日大通り)の整備 **重点**

- 駅周辺における無電柱化の調査・検討 **重点**

- 住宅地等における生活道路対策の実施
- 交通安全啓発活動の実施

● 荷捌きスペースの確保 **再掲**

- 既存駐車場を活用した荷捌きスペースの確保 **再掲**
- 一定規模以上の建築の際の荷捌きスペース設置の誘導 **再掲**
- 路上空間における荷捌きスペース確保 **再掲**
- 既存駐車場のタイムシェアリング **再掲**
- 荷捌き対策の更なる充実化に関する調査・検討・協議 **再掲**
- 路上駐車取締りの強化 **再掲**

みんなに優しい自転車利用プログラム

対象 主として地域住民

● 自転車と歩行者・自動車が共存できる環境整備

- 商店街等の歩きやすい歩行環境づくり **重点** **再掲**
- 駅周辺の自転車ネットワーク路線の整備 **重点**
- 荻窪地下道通行時の自転車通行ルールの周知 **再掲**

頼れるターミナル駅プログラム

対象 全ての人

● 駅周辺の開発にあわせた基盤整備 **再掲**

- 駅周辺の開発にあわせた基盤整備に向けた調査・検討・協議 **重点**

● 駅や駅周辺における安全性の向上

- ホームドア設置の推進
- 大規模災害に対応した防災訓練の実施 **重点**
- 帰宅困難者支援マップの作成・配付

4 将来の社会変化

(1) 新技術等の活用

- ・自動運転技術等について、交通事故の削減や高齢者の移動支援、荷捌きスペースの省スペース化などへの活用可能性の検討が必要

新たな技術等を生かした
安全で快適に移動できるまち

新技術活用プログラム

対象 全ての人

● 新たな技術の活用

- 自動運転公道実証実験への協力

